

スペイン民俗芸能紹介

静岡文化芸術大で音楽会

フラメンコ 聴衆を魅了

浜松市中区の静岡文化芸術大でこのほど、スペインの民俗芸能を学ぶ音楽会「スペインの風 フラメンコの音楽と舞踊」が開かれた。市内在住のフラメンコ舞踊家大塚友美さんら9人が出演し、対談やステージを通じてフラメンコの魅力を伝えた。



迫力あるフラメンコの舞踊と音楽を披露する出演者ら＝浜松市中区の静岡文化芸術大

同大芸術文化学科の梅田英春教授と学生が企画・運営した。大塚さんは梅田教授との対談で、フラメンコのリズムは「コンパス」という独特な単位で数えることなどを紹介。スペインはイスラム文化圏による支配が800

年ほど続いた歴史にも触れ、「スペインとイスラムの文化が混ざり、ロマ民族が感情を表現するためにフラメンコをつくっていった」と解説した。ステージでは、大塚さんが力強いギター演奏と歌声に合わせて足裏を

激しく打ち鳴らし、情熱的な舞踊を繰り広げて聴衆を魅了した。